

事務事業名	道路等パトロール事業費										担当課	部課名	道路河川部道路維持課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	01	細目	006	説明	01	課等の長	馬鳥 鉄浩	電話	4441

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	義務的自治事務										
事業概要	道路等を常に良好な状態に保つため、パトロール及び市民要望箇所の調査を行う。																
対象	1. 個人	市民														433,060	人
根拠法令等	法律等	道路法															
事業実施内容	市内を南北2地域に分けてパトロールや市民要望箇所の調査を行った。																
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 () <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 () <input type="checkbox"/> その他 ()																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 4,571 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	726 千円	パトロール車の燃料費,点検整備費
		役務費	146 千円	パトロール車の自賠責保険
		備品購入費	3,682 千円	パトロール車の購入
公課費	17 千円	パトロール車の自動車重量税		
財源内訳	R元年度 支出済額 4,571 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	4,571 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	2.50
再任用短時・任期付短時職員	0.50
非常勤職員	0.00
合計	3.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	24,561	35,642	26,381	31,869			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	24,625	33,025	28,210	31,848			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	924	990	1,332	4,571			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	23,701	32,035	26,878	27,277			
	①職員給与合計(常勤)	22,612	30,692	25,705	25,833			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	1,089	1,343	1,173	1,444			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-64	2,617	-1,829	21			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-64	2,617	-1,829	21			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	57.78	425,105	83.37	427,501	61.45	429,317	73.59	433,060

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		日常的なパトロールを実施している事業であり、実施日数や実施箇所数など目標を立てていないため、指標の設定ができない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-								

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	道路の老朽化による陥没などの緊急対応や市民の多様な要望等の増加により，その対応に追われ，通常のパトロールに影響が生じている。
(2) (1)解決のための今後の取組	通常のパトロールに加え，路面下空洞化調査等を活用することにより，陥没発生の要因となる空洞を早期発見し，補修実施することで予防保全型の道路管理に取り組む。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市民要望箇所の調査及び道路の危険や破損箇所等を発見し，対応することについては，道路の安全確保について一定の効果を得た。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	市民要望箇所の調査及び道路の破損箇所の早期発見のため，新たなパトロールの手法として，道路通報アプリなどの検討を進めていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
1	道路施設の補修に伴う調査，計画，施工に関すること	有	有	1	1
5	道路施設等のパトロールに関すること	有	有	1	1
6	道路の管理及び応急補修に関すること	有	有	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	古澤 吾郎	確認日	2020/8/21
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	砂利等原材料費										担当課	部課名	道路河川部道路維持課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	02	細目	002	説明	01	課等の長	馬鳥 鉄浩	電話	4441

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	義務的自治事務										
事業概要	市民要望やパトロールによって確認した道路補修箇所を、直営班や委託業務受託者によって早期に対応を行うための原材料購入に要する経費。																
対象	1. 個人	市民														433,060	人
根拠法令等	法律等	道路法															
事業実施内容	道路補修に必要な原材料の購入 アスファルト合材, コンクリート製品(雨水桝, L型側溝等), 安全柵(ガードレール, 車止め等)等																
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 22,893 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		原材料費	22,893 千円	アスファルト合材, コンクリート製品, 安全柵等
財源内訳	R元年度 支出済額 22,893 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	22,893 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	1.00
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	26,514	37,734	29,535	32,621			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	26,530	34,740	31,203	32,612			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	20,237	20,240	21,567	22,893			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	6,293	14,500	9,636	9,719			
	①職員給与合計(常勤)	6,021	13,829	9,167	9,141			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	272	671	469	578			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-16	2,994	-1,668	9			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-16	2,994	-1,668	9			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	62.37	425,105	88.27	427,501	68.80	429,317	75.33	433,060

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		道路補修に必要な原材料を購入する費用であり、指標の設定ができない。						
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-	

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	特になし
(2) (1)解決のための今後の取組	特になし

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	危険や破損箇所等の対応の際に，砂利等原材料費を活用することで早期補修を図り，市民の安全安心の向上に寄与した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	道路補修に必要な原材料について，より効率的な活用に努める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
6	道路の管理及び応急補修に関すること	有	有	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	古澤 吾郎	確認日	2020/8/21
----	-------	----	-------	-----	-----------

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		道路等を日常的に維持管理する事業であり、指標の設定ができない。						
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-	

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	道路等の新設や老朽化が進み，日常的な維持管理に必要とする費用が増加している。特に近年は駅前にエスカレーターやエレベーターの施設を新たに設置しており，管理費用が増加している。街路樹についても植栽から相当年数が経過していることから，根上りや大径木化が進んでいる。
(2) (1)解決のための今後の取組	道路等の老朽化への対応や街路樹の管理のため，予算の効率的な執行を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	日常的な維持管理や点検を行うことで適正な運用が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	道路等や街路樹の適正な管理が行えるよう，「藤沢市道路ストックマネジメント計画」に基づく各プログラムを推進する。また，特に老朽化等が顕著な施設の重点的な修繕・更新に向けて，「個別施設計画道（街路樹等）」の策定を進める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
6	道路の管理及び応急補修に関すること	有	有	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	古澤 吾郎	確認日	2020/8/21
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	道路応急対策費										担当課	部課名	道路河川部道路維持課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	02	細目	002	説明	03	課等の長	馬鳥鉄浩	電話	4441

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	義務的自治事務										
事業概要	道路等を常に良好な状態に保ち、市民生活の安全安心の向上に寄与するため、道路等の緊急性を要する穴埋めや陥没補修等を専門業者に委託する。																
対象	1. 個人	市民														433,060	人
根拠法令等	法律等	道路法															
事業実施内容	傷んだ道路等の応急補修を行い、通行の安全を図った。 ・舗装応急対策 2人体制 108日 南部北部地区舗装応急対策業務委託 ・道路応急対策 3人体制 174日 道路補修応急対策業務委託 ・緊急対応対策 3人体制 25日 道路緊急対応対策業務委託																
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 協和通商(株) 他) (委託等内容 : 舗装応急対策業務委託 他) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 37,724 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		委託料	37,724 千円	道路補修応急対策業務委託 他
財源内訳	R元年度 支出済額 37,724 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	37,724 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	1.00
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
 ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	45,954	51,737	44,465	47,452			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	45,987	50,428	46,133	47,443			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	36,342	35,928	36,497	37,724			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	9,645	14,500	9,636	9,719			
	①職員給与合計(常勤)	9,101	13,829	9,167	9,141			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	544	671	469	578			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-33	1,309	-1,668	9			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-33	1,309	-1,668	9			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	108.10	425,105	121.02	427,501	103.57	429,317	109.57	433,060

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		道路の応急対応を必要とする事業であり、指標の設定ができない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	道路舗装の老朽化が進み，応急補修が必要な案件が増加しており，1箇所あたりの対象規模も大きくなってきている。
(2) (1)解決のための今後の取組	過年度の業務委託の対応実績や要望件数から，実績に基づき業務委託の対応割合を調整する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	老朽化した道路等の応急補修を迅速に対応することで，通行の安全が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	道路等を利用する市民が，安全に利用できるよう，引き続き，効果的・効率的に道路の応急対策を実施していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
1	道路施設の補修に伴う調査，計画，施工に関すること	有	有	1	1
6	道路の管理及び応急補修に関すること	有	有	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	古澤 吾郎	確認日	2020/8/21
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	道路維持管理業務費										担当課	部課名	道路河川部道路維持課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	02	細目	002	説明	04	課等の長	馬鳥鉄浩	電話	4441

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	義務的自治事務										
事業概要	道路等の維持補修にかかる費用及び使用する光熱水費等の経費。																
対象	1. 個人	市民														433,060	人
根拠法令等	法律等	道路法															
事業実施内容	1 道路等を修繕及び補修 2 道路施設に必要な光熱水費及び通信費, 使用料や賃借料等の経費 3 直営班に必要な車両等の維持管理																
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 348,683 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	289,543 千円	施設修繕, 光熱水費電気代, 光熱水費上下水道代 他
		役務費	35,035 千円	樹木伐採手数料, 火災保険, 自動車損害保険等
		使用料及び賃借料	6,566 千円	専用回線使用料, 電話機・ファックス賃借料等
		工事請負費	10,937 千円	道路施設に係る工事
財源内訳	R元年度 支出済額 348,683 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 (電気料実費収入ほか)	17,140 千円			
一般財源	331,543 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	17.00
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	17.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
 ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	396,658	446,406	609,336	512,542			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	389,302	437,503	605,759	513,900			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	254,265	275,104	437,125	348,683			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	135,037	162,399	168,634	165,217			
	①職員給与合計(常勤)	127,414	154,879	160,423	155,397			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	7,623	7,520	8,211	9,820			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	7,356	8,903	3,577	-1,358			
	①減価償却費	4,405	3,685	3,279	0			
②退職給与引当金繰入額	2,951	5,218	298	-1,358				
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	933.08	425.105	1044.22	427.501	1419.31	429.317	1183.54	433.060

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		日常管理に必要な電気・水道等の経費や、突発的な道路施設の維持補修を行う事業であり、指標の設定ができない。						
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-	

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	道路施設等の老朽化が進んでいる。
(2) (1)解決のための今後の取組	道路等の適切な維持管理のため，計画的な維持・修繕の執行を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市民が安全に道路等を利用できるよう維持管理を行い，通行の安全が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	道路等を利用する市民が，安全に利用できるよう，引き続き，維持管理を実施してく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
1	道路施設の補修に伴う調査，計画，施工に関すること	有	有	1	1
6	道路の管理及び応急補修に関すること	有	有	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	古澤 吾郎	確認日	2020/8/21
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	道路改修舗装費										担当課	部課名	道路河川部道路維持課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	02	細目	003	説明	01	課等の長	馬鳥鉄浩	電話	6637

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	義務的自治事務										
事業概要	道路利用者の安全や円滑な通行環境を確保するため、急速に老朽化が進んでいる道路舗装の計画的な点検、打換や、劣化箇所適切な補修対応など道路舗装の維持管理を行う。																
対象	1. 個人	市民														433,060	人
根拠法令等	法律等	道路法															
事業実施内容	1. 舗装打換工事 善行長後線他46件 延長 6, 408m 面積 37, 143㎡ 2. 調査委託 FWD調査委託 3. 舗装等の施設修繕 354件																
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : (株)クリエート) (委託等内容 : FWD調査委託) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 745,131 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		工事請負費	443,384 千円	工事による舗装打換等
		需用費	297,453 千円	修繕による舗装打換等
		委託料	4,266 千円	FWD調査委託
		旅費	28 千円	県庁等への旅費
財源内訳	R元年度 支出済額 745,131 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金	57,112 千円	
		県支出金		
その他 (市債)	140,500 千円			
一般財源	547,519 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	令和元年度
正規職員等	8.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	8.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
 ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	912,291	874,203	896,753	827,814			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	912,572	878,573	896,109	827,740			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	828,656	801,240	814,201	745,131			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	83,916	77,333	81,908	82,609			
	①職員給与合計(常勤)	79,179	73,752	77,920	77,699			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	4,737	3,581	3,988	4,910			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-281	-4,370	644	74			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-281	-4,370	644	74			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	2146.04	425,105	2044.91	427,501	2088.79	429,317	1911.55	433,060

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		藤沢市道路舗装修繕計画による年次工事の他に日々発生する多様な要望等の対応を図ることによる安全確保を行っていることから、指標の設定ができない。							
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-	

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	令和元年度末時点の課題	国庫補助金の減額内示により，予定工事の施工範囲を縮小する必要が生じた。また，年間約300件の舗装系補修（修繕）に係る要望受付から現地確認・調査・見積徴取・業者の選定・発注・完成までの事務の軽減と，対応時間の短縮等を図るため，業務の見直しを図る必要がある。
(2)	(1)解決のための今後の取組	安定的な特定財源の確保は重要な課題と捉え，内示額の増減にも柔軟に対応できるように取組む。また，件数の多い修繕の一部について，北部・南部にエリアを分け，令和2年度より概数による契約工事として発注し，事務の軽減と，対応時間の短縮等を図る。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	老朽化した舗装の打換や修繕等の応急的対応を行うことで，市民の円滑な通行と生活環境の維持及び安全を確保することができた。	
今後の方針	事業の方向性	実施手法の見直し
	<p>これまで，「藤沢市道路舗装修繕計画」に基づき，1・2級道路を中心に特定財源を確保し舗装打換を行ってきたが，今後は，生活道路についても起債等の特定財源を確保しながら，優先順位の高い路線の打換を推進する。</p> <p>また，「藤沢市道路ストックマネジメント計画」に基づき，バリアフリー化等と連携を図ることで，効率的・効果的に道路舗装の修繕を推進する。</p>	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
3	舗装打換の調査，計画，施工に関すること	無	有	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	古澤 吾郎	確認日	2020/8/21
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	藤沢宿地区舗装改修費										担当課	部課名	道路河川部道路維持課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	02	細目	003	説明	02	課等の長	馬鳥鉄浩	電話	6637

1. 事業概要

事業開始年度	平成 27 年度	終了(予定)年度	令和 9 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	平成26年4月施行の「藤沢市街なみ百年条例」に基づき指定された旧東海道藤沢宿街なみ継承地区において、歴史的・文化的な資源の保全・継承等との調和を図りながら、楽しく歩ける回遊性のある魅力的な道路空間を創出するため、北仲通り線や横町等の舗装改修にあわせて舗装の高質化を図る。						
対象	1. 個人	市民					433,060 人
根拠法令等	法律等	道路法, 藤沢市街なみ百年条例, 旧東海道藤沢宿街なみ継承ガイドライン					
事業実施内容	北仲通り線舗装打換工事 延長 384m 面積 1,655㎡(遮熱性舗装 A=1,450㎡)						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 49,479 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		工事請負費	49,479 千円	北仲通り線舗装打換工事
財源内訳	R元年度 支出済額 49,479 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 (市債)	44,500 千円			
一般財源	4,979 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	29,773	34,184	35,401	54,343			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	29,799	33,761	37,015	54,339			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	22,082	24,094	32,196	49,479			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	7,717	9,667	4,819	4,860			
	①職員給与合計(常勤)	7,281	9,219	4,584	4,571			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	436	448	235	289			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-26	423	-1,614	4			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-26	423	-1,614	4			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	70.04	425,105	79.96	427,501	82.46	429,317	125.49	433,060

成果実績	指標名	舗装改修に伴う舗装の高質化	目標	2	単位 路線	1	単位 路線	1	単位 路線	1	単位 路線
			実績	2	単位 路線	1	単位 路線	1	単位 路線	1	単位 路線
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			14,886,500.00	34,184,000.00	35,401,000.00	54,343,000.00					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	令和元年度末時点の課題	本事業については，令和元年度末で，常光寺横丁（令和9年度施工予定）を除く計画路線の改修が終了したため，課題はなし。
(2)	(1)解決のための今後の取組	特になし

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	舗装の改修により適切な維持管理が行われたことに加え，路面の高質化を図ったことで，歩行空間の快適性が高まり，旧東海道から北仲通りをはじめ横町への回遊性を向上させることにつながった。 旧東海道藤沢宿街なみ継承地区の歴史あるまちを感じさせ，地域の活性化に寄与した。	
	事業の方向性	休止・廃止・完了
今後の方針	藤沢宿地区舗装改修計画の路線で未整備となっている常光寺横町の整備については，南消防署本町出張所の建替計画があるため，令和8年度の建替完了（予定）にあわせて令和9年度施工予定である。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
3	道路の舗装打ち換え等の計画及び施工	無	無	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	古澤 吾郎	確認日	2020/8/21
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	道路施設改修事業費										担当課	部課名	道路河川部道路維持課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	02	細目	004	説明	01	課等の長	馬鳥 鉄浩	電話	4442

1. 事業概要

事業開始年度	平成 27 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	老朽化が進む道路施設について、安全で円滑な交通の確保や適正な管理を行うため、専門家による定期点検や調査を実施するとともに、点検等の結果に基づき、計画的に道路施設の修繕、更新、長寿命化等の取組を実施する。						
対象	1. 個人	市民					433,060 人
根拠法令等	法律等	道路法					
事業実施内容	1 道路照明灯点検委託(575基) 2 道路保護擁壁等点検委託(擁壁33箇所, のり面3箇所, 落石防護柵3箇所) 3 藤沢駅東西地下道天井部等点検委託(1箇所) 4 路面性状調査委託(155km) 5 道路ストックマネジメント計画策定支援委託(一式) 6 路面下空洞調査委託(104km) 7 大庭トンネル非常用施設等更新工事予備設計委託(照明・防災施設予備設計 一式) 8 トンネル補修工事(3トンネル) 9 辻堂駅北口他エスカレーター改修工事(辻堂駅4基, 湘南台駅2基) 10 藤沢駅東西地下道天井板撤去工事 等						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 株式会社東光コンサルタンツ) (委託等内容 : 道路照明灯点検委託) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : 公益社団法人地盤工学会, 公益社団法人土木学会) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 203,142 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		工事請負費	123,483 千円	大規模維持補修工事
		委託料	67,000 千円	建設事業関係委託
		需用費	10,701 千円	施設修繕費, 印刷製本費
財源内訳	R元年度 支出済額 203,142 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金	千円	
		使用料・手数料	千円	
		国庫支出金	36,490 千円	
県支出金	千円			
その他 (市債)	34,600 千円			
一般財源	132,052 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	2.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	2.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
 ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度				
行政費用 A	90,554	96,744	203,309	227,460				
(1)現金を伴う支出 (千円)	87,209	96,572	202,018	227,439				
事業費(支出済額－②報酬合計)	69,847	77,239	177,927	203,142				
償還金利息	0	0	0	0				
人件費合計(①＋②＋③)	17,362	19,333	24,091	24,297				
①職員給与合計(常勤)	16,382	18,438	22,918	22,853				
②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0				
③退職金相当額	980	895	1,173	1,444				
(2)現金を伴わない支出 (千円)	3,345	172	1,291	21				
①減価償却費	0	0	0	0				
②退職給与引当金繰入額	3,345	172	1,291	21				
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	213.02	425,105	226.30	427,501	473.56	429,317	525.24	433,060

成果実績	指標名	目標	—	単位	—	単位	—	単位	—
		実績	—	単位	—	単位	—	単位	—
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		道路施設の調査・点検及び補修等を目的とした事業であるため、指標の設定が困難である。						
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		—		—		—		—	

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	国庫補助金の内示額が低いため、「道路照明灯」や「道路保護擁壁・のり面」の点検を計画的に進めることが難しい状況となっている。
(2) (1)解決のための今後の取組	今後も国庫補助金の確保は難しい状況が想定されるため，各事業間で財源の調整を行うことにより，順次，点検を進める。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	道路ストック全体の管理方針等を示した総合的な計画となる『藤沢市道路ストックマネジメント計画』の策定に向け，学識経験者と意見交換を行うなか，令和元年度中に素案を作成した。 道路照明灯については，平成27年度から順次点検を実施してきており，点検完了に向けた取組を進めることができた。また，点検結果に基づき，緊急修繕等を行い，市民の安全を確保することができた。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	点検が完了していない「道路照明灯」及び「道路保護擁壁・のり面」の点検を進め，点検結果に基づく緊急修繕等を随時，行うとともに，未策定の個別施設計画の策定を進める。 令和元年度には『藤沢市道路ストックマネジメント計画（素案）』を作成したため，令和2年度中の策定を目指し，引き続き，策定手続きを進めていく。また，計画策定後は，順次，計画に基づく各種プログラムを進めていくものとする。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
1	道路施設の補修に伴う調査，計画，施工に関すること	有	有	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	古澤 吾郎	確認日	2020/8/21
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	道路安全対策費										担当課	部課名	道路河川部道路維持課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	04	細目	001	説明	01	課等の長	馬鳥鉄浩	電話	4441

1. 事業概要

事業開始年度	平成 25 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	交通事故を防止し、安全で円滑な道路交通を確保するため、通学路点検や市民要望をもとに道路の安全施設を整備する。						
対象	1. 個人	市民					433,060 人
根拠法令等	法律等	道路法					
事業実施内容	1 道路反射鏡の新設・建替 55基 2 道路区画線標示の新設・補修 約3.5km						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : (株)藤沢市興業公社) (委託等内容 : 道路反射鏡清掃及び管理) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額	事業費節別内訳		主な事業内容										
		費目	支出済額 (千円)											
出	111,880 千円	工事請負費	54,481 千円	道路区画線標示補修等工事・道路安全施設設置工事										
		需用費	46,841 千円	道路安全施設の修繕										
		役務費	943 千円	道路反射鏡周辺枝払い等										
		委託料	9,615 千円	道路反射鏡清掃及び管理業務委託										
財源内訳	111,880 千円	事業費節別財源内訳		3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正規職員等</td> <td>1.50</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1.50</td> </tr> </tbody> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		令和元年度	正規職員等	1.50	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	1.50
			令和元年度											
		正規職員等	1.50											
		再任用短時・任期付短時職員	0.00											
		非常勤職員	0.00											
		合計	1.50											
分担金・負担金														
使用料・手数料														
国庫支出金														
県支出金														
その他 (市債)	22,900 千円													
一般財源	88,980 千円													

4. コスト分析

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度				
行政費用 A	144,890	97,894	86,975	127,978				
(1)現金を伴う支出 (千円)	144,919	97,808	87,083	126,459				
事業費(支出済額-②報酬合計)	136,238	88,141	77,447	111,880				
償還金利息	0	0	0	0				
人件費合計(①+②+③)	8,681	9,667	9,636	14,579				
①職員給与合計(常勤)	8,191	9,219	9,167	13,712				
②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0				
③退職金相当額	490	448	469	867				
(2)現金を伴わない支出 (千円)	-29	86	-108	1,519				
①減価償却費	0	0	0	0				
②退職給与引当金繰入額	-29	86	-108	1,519				
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	340.83	425,105	228.99	427,501	202.59	429,317	295.52	433,060

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位	
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		道路の安全施設の維持管理を目的としている事業であり、指標の設定ができない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)											

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	道路反射鏡については，要望が多く対応に日時を要している。また，令和元年5月に発生した滋賀県大津市の交通事故を受け，未就学施設等や人通りが集中する，藤沢駅・湘南台駅・湘南台駅周辺において，車止等の設置を行い，歩行者の安全確保を行った。今後は要望等が生じた段階で対応していく。
(2) (1)解決のための今後の取組	道路反射鏡等の安全対策については，要望を踏まえながら実施していく。また，安全施設の対応については，関係機関や学校等，連携を図りながら方向性を見定めていく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	道路反射鏡の設置や清掃，道路区画線等を適正に維持管理し，円滑な通行が図られ，市民の安全性が確保された。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	新規の設置要望が多い道路反射鏡については，要望に添えない場合が多いので，その役割やデメリットを地域の方々へ説明しながら理解を得ていく。また，道路区画線表示については日々摩耗していくものであり，安全対策施設が有効に機能するように維持・補修・改善を実施していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
4	道路反射鏡及び交差点自発光鏡の新設等	有	有	1	1
4	道路反射鏡の方向直し等の維持管理	有	有	1	1
4	道路区画線による警戒標示及びグリーンベルトの新設	有	有	1	1
4	道路区画線による警戒標示及びグリーンベルトの補修	有	有	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	古澤 吾郎	確認日	2020/8/21
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	橋りょう維持修繕費										担当課	部課名	道路河川部道路維持課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	05	細目	001	説明	01	課等の長	馬鳥 鉄浩	電話	4443

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	義務的自治事務										
事業概要	道路施設のうち、橋りょう利用者の安全を確保するため、老朽化の進んでいる施設の維持修繕等を行う。																
対象	1. 個人	市民														433,060	人
根拠法令等	法律等	道路法															
事業実施内容	1 橋りょう小規模修繕 11件 2 小規模高欄改修工事 1件(大正橋) 3 橋りょう点検技術者育成に関する研修負担金 4 橋りょう維持修繕事業事務経費																
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 () <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : 一般財団法人橋梁調査会) <input type="checkbox"/> その他 ()																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 9,631 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需要費	6,275 千円	橋りょう小規模修繕
		工事請負費	3,250 千円	大正橋高欄改修工事
		負担金補助及び交付金	60 千円	橋りょう点検技術研修負担金
		旅費	46 千円	工場検査等への旅費
財源内訳	R元年度 支出済額 9,631 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	9,631 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	10,966	20,854	12,383	14,495			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	10,973	18,408	13,997	14,491			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	9,044	8,741	9,178	9,631			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	1,929	9,667	4,819	4,860			
	①職員給与合計(常勤)	1,820	9,219	4,584	4,571			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	109	448	235	289			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-7	2,446	-1,614	4			
	①減価償却費	0	0	0	0			
②退職給与引当金繰入額	-7	2,446	-1,614	4				
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	25.80	425,105	48.78	427,501	28.84	429,317	33.47	433,060

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		橋りょうの維持管理を目的としている事業であり、指標の設定ができない。						
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-	

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	日常管理の中で、デザイン重視の構造物の一部が、カバーに覆われた状態で経年劣化の進行が確認できないので、それらの施設の改善を図る必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	カバーに覆われた施設の点検方法については、個別に定めるか、補修工事にあわせてカバーの無い構造に改修する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	年間で実施する予定の橋りょう維持修繕の目標は概ね達成しており、橋りょう維持修繕事業については、一定の効果を得たものと考ええる。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	橋りょう利用者の安全を確保することと、維持費の平準化を図るため、計画的に損傷箇所の早期修繕や、老朽化の進んだ部材の改修工事を継続して実施する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
1	道路施設の補修に伴う調査，計画，施工に関すること	有	有	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	古澤 吾郎	確認日	2020/8/21
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	橋りょう事業事務費										担当課	部課名	道路河川部道路維持課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	06	細目	001	説明	02	課等の長	馬鳥 鉄浩	電話	4443

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	義務的自治事務										
事業概要	神奈川県が進める河川改修事業に伴う橋りょう架替事業等に要する経費。																
対象	1. 個人	市民														433,060	人
根拠法令等	法律等	河川法・道路法															
事業実施内容	1 神奈川県庁協議等に要する旅費 2 橋りょう事業に関する事務経費																
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 849 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	812 千円	橋りょう事業実施に伴う印刷製本費等の事務経費
		旅費	37 千円	神奈川県庁等への旅費
財源内訳	R元年度 支出済額 849 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	849 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	令和元年度
正規職員等	0.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	2,071	13,398	4,001	5,713			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	2,074	10,615	5,615	5,709			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	1,110	948	796	849			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	964	9,667	4,819	4,860			
	①職員給与合計(常勤)	910	9,219	4,584	4,571			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	54	448	235	289			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-3	2,783	-1,614	4			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-3	2,783	-1,614	4			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	4.87	425,105	31.34	427,501	9.32	429,317	13.19	433,060

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		橋りょう架替のための事務経費であり、指標の設定ができない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	協議資料作成の要点や，協議に関する事務の継承。
(2) (1)解決のための今後の取組	橋りょうに関する技術の継承や，書類作成の要点の継承を普段の業務から常に行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	橋りょう事業の円滑な事務執行が図られ，一定の効果が得られたものとする。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	内部説明資料の内容や構成を見直し，事務経費のより効率的な活用を心掛ける。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
2	橋りょうの新設及び改良に関すること	有	有	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	古澤 吾郎	確認日	2020/8/21
----	-------	----	-------	-----	-----------